

非血縁者間骨髄採取認定施設

採取責任医師各位

麻酔責任医師各位

公益財団法人 日本骨髄バンク

ドナー安全委員会

菌血症のため骨髄採取術を中止した事例について

平素より骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、菌血症のため非血縁者間骨髄採取術を中止した事例が報告されました。原因は歯肉炎からの菌血症と考えられ、万が一、採取に至っていた場合、骨髄液への影響が懸念された事例であったため、情報共有の観点から周知いたします。

記

■経過

Day-1 入院 夕方、体温37.5℃

Day 0 当初の骨髄採取予定日

感染症対策室、麻酔科と協議、骨髄採取延期となる。

COVID-19 PCR検査 陰性、胸部X P、血液培養、尿培養実施。

Day+2 血液培養からブドウ球菌と思われる細菌(+)

採取施設の見解：入院時より炎症のあった歯肉炎からの菌血症と思われ、

この状態では採取できない。すでに延期となっていることより中止と考える。

移植施設の見解：臍帯血に切り替える予定。

骨髄採取中止

■ご参考：

Severe Pneumonia and Sepsis Caused by Dialister pneumosintes in an Adolescent

<https://www.mdpi.com/2076-0817/10/6/733>

以上